

平成28年度 第1回 川口市総合教育会議会議録

1 日 時 平成28年11月17日(木) 午後2時から3時まで

2 場 所 川口市役所本庁舎第3会議室

3 出席者(構成員6名)

(市長)		奥ノ木 信夫
(教育委員会)	教 育 長	茂呂 修平
	教育長職務代理者	山口 善子
	委 員	齋藤 卓
	委 員	宿谷 岩男
	委 員	中田 裕之

(構成委員以外)

○市長部局

(市長室長)	清水 竹敏	(子ども部長)	福田 亨
(政策審議員)	小林 正明		

○教育局

(生涯学習部長)	古澤 貢	(学校教育部長)	井上 清之
(学校教育部長理事)	川田 稔	(教育総務課長)	五十嵐 洋充
(学務課長)	杉田 明	(指導課長)	大竹 伸明
(学校保健課長)	鈴木 隆幸		

○事務局

(教育総務課長)	五十嵐 洋充	(教育総務課庶務係長)	大森 馨
(教育総務課庶務係主査)	栗原 栄	(教育総務課庶務係主任)	菅井 学

4 議 題

- (1) 開 会
- (2) 挨 拶
- (3) 新教育長・新教育委員の紹介
- (4) 議 事

ア 平成27年度 第3回 川口市総合教育会議の会議録について

イ 子どもがのびのび学べる環境づくりについて

(ア) 確かな学力の育成

(イ) 魅力ある高等学校づくり

(5) その他

(6) 閉会

5 議事の要旨

**【開会】**

事務局（教育総務課長）

定刻になりましたので、ただ今より、平成28年度第1回川口市総合教育会議を開会させていただきます。

私は、事務局を努めさせていただきます、教育総務課長の五十嵐と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、本日の傍聴希望者でございますが、現時点で傍聴希望者はございません。

なお、本日の議題には、個人情報の取り扱い等、会議を非公開とする内容は予定していないことから、この後、傍聴希望者がいらっしゃった場合は、6名になるまで途中入室させていただきますと思いますがよろしいでしょうか。

委員

了承

事務局（教育総務課長）

それでは、始めに、奥ノ木市長から、ご挨拶を頂きたいと存じます。

**【挨拶】**

奥ノ木市長

本日は、お忙しいところ、本年度の第1回川口市総合教育会議にご参集賜りまして、ありがとうございます。

早いもので、今年もあと1ヶ月半程度となってきました。

今年、本市では、先月の市産品フェア、御成道まつりのイベント等をはじめ、多くのイベントや事業を実施して参りました。どのイベント・事業も、皆様のおかげで、大成功裏に終了することができました。特に、市産品フェアでは、3日間で、ご来場頂いた方が前年度の約36,500人から約53,600人となり、賑わいを創出することができ、また、出展していただいた事業者の皆様にも、喜んで頂けたのではないかと考えております。今後も引き続き地方経済の活性化には特に力を入れて頑張っていきますので、教育委員の皆様にも、ご指導、ご尽力のほどお願いする次第でございます。

他方で、10月14日付けで、永田教育委員会委員長、それから、10月15日付けで、新海教育長の教育委員としての任期が満了することに伴い、9月市議会定例会において、永田委員長に代わり、中田委員を、新海教育長に代わり、茂呂教育長を任命する議案につ

いて、同意を頂きました。

新海前教育長の教育委員としての任期が満了したことに伴い、川口市においても、新教育委員会制度へと移行しました。これまで以上に、私と教育委員会の連携を強化して、川口市教育大綱に掲げた、基本理念の実現に務めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

私のモットーとしては、「弱いところに光をあてる」でございます。教育にも一部そういった所を反映させていただいております。特に学校給食費の滞納者について、子どもには罪はありませんので、給食を止めることが無いよう、ということをお願いして参りました。子どもによっては、学校給食だけが一日の栄養源ということもありうるので、是非配慮していただきたいと思っております。

そして、今、私は川口市を「選ばれるまち」としていきたいと思っております。この点についても是非、教育委員の皆様方にも、ご了解を賜りたいと思っております。

「選ばれるまち」の一つには、今日これからの議題の「新市立高等学校」があると考えております。私も含めて、皆様方の力で、選ばれる学校、これを目指して行きたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

この会議で大切なことは、市長である私と教育委員会とが、自由な意見交換を行うことであると思っております。委員の皆様には是非、忌憚りの無いご意見を交換していただき、その中から、皆様とより良い川口の教育を目指して参りたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申しあげまして、挨拶に代えさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

#### 【新教育長・新教育委員の紹介】

##### 事務局（教育総務課長）

教育委員会において、永田前教育委員会委員長の任期が10月14日で、また、新海前教育長の任期が10月15日で満了となりましたことから、9月市議会にて市議会の同意をへて、10月15日より、新たな教育委員として、中田委員を、16日より茂呂教育長を奥ノ木市長に任命していただきました。

茂呂教育長、中田教育委員におかれましては、既に教育長及び教育委員の職務にあたりいただいているところでございますが、本総合教育会議は委員として初めての出席となることから、ここで、一言ご挨拶をお願い申し上げます。

##### 【茂呂教育長より、挨拶】

##### 【中田教育委員より、挨拶】

#### 【議事】

##### 事務局（教育総務課長）

どうもありがとうございました。

次に、「議事」に移らせていただきます。ここからの議事進行につきましては、奥ノ木市長にお願いしたいと存じます。

#### 議長（奥ノ木市長）

それでは、これより私が議事の進行を努めさせていただきます。

始めに、議事の（１）「平成２７年度 第３回川口市総合教育会議の会議録について」でございますが、第３回会議録については、事前に事務局より配付させて頂いておりますが、この内容について、修正等のご意見はございませんか。

#### 【「異議なし」の声】

#### 議長（奥ノ木市長）

意義なし、とのお声を頂きましたので、平成２７年度 第３回川口市総合教育会議の会議録については、お手元のとおりとさせていただきます。

なお、会議録の署名人については、川口市総合教育会議運営要綱第１０条第２項の規定により、市長である私から２名の方を指名させていただきます。

第３回会議録の署名人については、山口委員と、齋藤委員のお二人にお願いいたします。

続きまして、議事の（２）「子どもがのびのび学べる環境づくりについて」、話をしていきたいと思っております。

この「子どもがのびのび学べる環境づくり」は、本年４月に策定した、川口市教育大綱の基本目標の最初の項目でございます。本日は、この基本目標について、本市の現状を教育委員会から説明いただいた上で、皆様と意見交換をしていきたいと考えております。

それではこの基本目標の中から、先ず、「ア 確かな学力」について、教育委員会より現状の説明をお願いしたいと思います。

#### 茂呂教育長

議事の（２）子どもがのびのび学べる環境づくりについて の ア確かな学力の育成 について、ご説明いたします。

これは、川口市教育大綱の５つの基本目標の「目標Ⅰ 子どもがのびのび学べる環境づくり」の「施策１ 幼稚園・小学校・中学校教育の充実」推進の柱「確かな学力の育成」にあたります。

全国及び埼玉県学力学習状況調査の結果や、学校訪問を通して明らかとなりました本市児童生徒の学力の現状を踏まえ、今年度、資料１にございます「川口市小中学校学力向上推進プラン」を策定いたしました。

教育委員会といたしましては、本市の児童生徒の学力の課題を「中位層・低位層の学力

向上」と「児童生徒の学習意欲の喚起」とし、市全体で「児童生徒一人ひとりの学力向上を目指して」を学校と連携を図りながら取り組んでいるところでございます。図左側が教育委員会の取組であり、図右側が学校での学力向上の取組でございます。

それでは、図左側をご覧ください。教育委員会の取組につきましては、ローマ数字ⅠからⅣの4つの柱で構成しております。

柱Ⅱにございます中位層・低位層の学力向上のために、今年度からの新規事業といたしまして、大きく3つ、左上の小学校低学年の基礎学力定着度調査の実施、右上の各学校の補充学習への支援、左2段目の川口漢字チャレンジ検定を実施していきます。

それでは、3つの新規事業につきまして、具体的にご説明いたします。資料1の2ページをご覧ください。

小学校低学年基礎学力定着度調査は、小学校2年生と3年生の全児童を対象に、本年4月14日（木）に実施いたしました。調査内容は、国語は「読むこと・書くこと」、算数は「計算」を中心として出題し、前学年の基礎的・基本的な学習内容の習得状況を把握できる問題となっております。この調査は、小学校1・2年生で学んだ内容が児童に十分定着しているかどうかを、学年の早い時期に把握し、すぐに答案を返し、定着していない児童に補充学習などの個別の手だてを講じるとともに、先生方の授業改善に生かしていくこともねらいとしております。

校長先生方より、「2・3年生の学年のスタート時に、児童の実態を的確に把握し、その後の指導に生かすことができた。」「この調査をすることで、低学年における学力の定着がいかに大切か、先生方の意識が高まった。」など、効果を実感する意見を多数いただいております。

2つ目の、各学校の補充学習への支援について、でございますが、市内全小中学校を対象に行っています。

「中学生学力アップ教室」事業を中心にご説明いたします。本事業は、進学を控え、高校受験に不安をもつ中学3年生を対象に、土日や冬休みを中心に、学習支援ボランティアを講師として派遣するものでございます。国語・数学・英語を中心に、市教委作成の補充学習ワークシートを活用しながら、基礎学力の定着を図ってまいります。今年度、市内全中学校で実施し、53名の学習支援ボランティアを各校に派遣しております。学習支援ボランティアは、教員免許を持つ者や教職員経験のある者、教員を目指す学生、大学院生等を対象としております。

また、全小中学校において、年間を通して計画的に実施していただいております補充学習に、学習支援ボランティアとして6つの中学校に市立3高の高校生16名を派遣し、補充学習への支援を行っております。

3つ目の漢字チャレンジ検定は、全ての児童の基礎学力向上を目指して、1月を「市内漢字チャレンジ月間」とし、全小学校で漢字学習に取り組むものでございます。2月上旬に検定を学校ごとに実施し、合格者には認定書を授与し、児童一人ひとりに目標を持たせて取り組ませていくものでございます。来年度は、中学校にも拡大し、実施する予定とな

っております。

教育委員会といたしましては、今後も学校と連携を図り、これらの事業を効果的に活用しながら、児童生徒の一人一人の学力を確実に伸ばす学習指導を進めてまいります。

平成29年度に実施される全国及び埼玉県学力学習・状況調査において、伸びを含め、数値的な結果で効果の検証ができるよう、学校と一体となって、児童生徒の学力向上に努めてまいります。

#### 議長（奥ノ木市長）

ただ今、茂呂教育長から「ア 確かな学力」について、説明がありましたが、これらについて、補足や、ご意見等がありましたら、お願いいたします。

#### 茂呂教育長

先日、都市教育長会議の時に、南部教育事務所の所長から、学力向上について、説明がありました。その説明では、埼玉県の平均正答率について、全国の平均正答率の前後5ポイントの中に、埼玉県は位置しており、それは昨年度よりもかなり伸びてきているとのことでした。その言葉を元に本市の場合は、5ポイントよりも更に平均に近いところに位置しており、子ども達が頑張っているということが言えると思われま

#### 山口委員

学力向上というのは、例えば、上位層を引き上げ、それにより、中位層もの引き上げられていくという考え方もあると思います。また、今説明があったように、1人が1点ずつでも上げることにより、全体が上がってくるということもあるかと思われま

#### 議長（奥ノ木市長）

戸田市で英検のバックアップをしていると聞いているが、どのようなものかもし分かれれば教えてもらいたいと思います。

#### 茂呂教育長

戸田市では、英検の合格率を向上させるために、市教育委員会で、事前に学習会を実施していると聞いております。人数は定かではございませんが、40名程度が集まり、実施しているようです。

本市におきましては、英語検定、漢字検定等を含めて、各学校の主体性にまかせております。

#### 山口委員

中学生学力アップ教室が始まっていますが、現場の学校の教員は、どのように関わっているのでしょうか。

#### 指導課長

中学生学力アップ教室は、市内の中学3年生を対象に主に土・日や冬季休業日を中心に学習支援員が学力アップを目指して支援を行っているものです。学校によっては、この事業に教員も一緒に参加している場合もございます。

#### 山口委員

せっかくある事業ですから、学校側が教育委員会で実施する中学生学力アップ教室にお任せということではなく、教育委員会と学校とが一緒に協力して進めていただければと思います。

#### 茂呂教育長

教育委員会といたしましては、教員に負担をかけなくても、子ども達の学力アップを支援していくというスタンスでございます。

今後また、研究をしながら、より良い方向へもっていけたらと考えております。

#### 齋藤委員

資料1の2ページ、右側の各学校の補充学習への支援の③に、中学校に市立3校の高校生を学習支援ボランティアとして派遣とありますが、派遣の基準のようなものはあるのでしょうか。

#### 指導課長

市立3校の生徒の皆さんに希望を募り、主に、夏休みに中学校に行って頂いております。これは、自分の出身中学校に行くことを基本としておりますが、市外から通学している生徒につきましては、在籍の市立学校の近隣の中学校に行く形をとっております。なお本年夏の夏休みには、6中学校に16名を派遣しました。

#### 茂呂教育長

今の話は高等学校と中学校との取り組みでしたが、中学校と小学校においても同じような取り組みを行っておりますので、その点について、学校教育部長より説明をいたします。

#### 学校教育部長

中学校区内の小学校に中学生を夏休みに派遣をしまして、先生方と一緒に補習の手伝いを行うなどの取り組みがございます。

この取り組みは、市全体での取り組みではございませんが、校長会等でその内容が広まり、現在多くの学校で同様の取り組みが行われているところでございます。

#### 宿谷委員

学力向上について、全体を10として考えた場合、教育委員会では特にどの辺りのレベルアップに重きを置いていくのでしょうか。

#### 茂呂教育長

学力向上については、0ベースで考えて頂きたいと学校長には言っております。例えば、ある学校については、県の平均正答率、全国の平均正答率と比べて、この位の位置にあるというのがあります。しかしこの位置というのは、学校によって異なっております。これは子ども1人1人が違い、また、環境も違うからでございます。そのため、自分の学校がこの位置にあるから満足するというのではなく、その位置をゼロベースとして考え、その中で何をどうすればよいのか、実態をしっかりと受け止めて、何をどうすることによって、子ども達の学力を1ステップ、2ステップ上げていくのか、ということを経営に是非活かしていただきたいと話をしております。

#### 宿谷委員

今の話ですと、各学校に力の配分は任せるということよろしいでしょうか。

#### 茂呂教育長

それぞれ個々の学校が努力をして、その結果として、市全体の平均正答率が上がってくるのではないかと思います。平均正答率を上げることを目的にするのではなく、一生懸命に学習のステップを上げていくことを目標にして、最終的には、学力のレベルアップにつながり、結果としてこのようになりましたという形にもっていきたいと考えております。

#### 議長（奥ノ木市長）

是非今の取り組みを見守っていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、この議題については、概ね意見交換ができましたので、次の議題「イ 魅力ある高等学校づくり」に移らせて頂きたいと思います。

#### 茂呂教育長

次に、「イ 魅力ある高等学校づくり」について説明します。

川口市立高等学校の校舎棟建設工事を開始しましてから、約13ヶ月が経過しました。躯体工事が進み、現在は、2階の柱・壁、3階の梁・床の鉄筋工事が始まっております。

また、平成30年度の新校の開校に向けましては、制服や校章デザインの制定や、校歌製作者の決定など、順調に準備を進めているところでございます。

それでは、学科およびコースの設置について、資料2の1ページ目をご覧ください。

新市立高等学校の学科及びコースの設置についてでございますが、新校の全日制課程には、「理数科」を1クラス、「普通科」を11クラス設置致します。また、普通科には、難関大学への進学を目指す「特別進学クラス」を3クラス程度設けます。更に普通科には、「文



理スポーツコース」を3クラス程度設ける予定です。

続きまして、2ページ目をご覧ください。定時制課程につきましては、「総合学科」を3クラス設置します。

次に、教育課程についてでございますが、「理数科」から説明させていただきます。

理数科では、理数科特有の科目を設定し、実験や演習を多く取り入れた発展的な学習をおこなっていきます。将来、国公立大学や難関私立大学に進学し、研究者や専門家、医師などを目指す生徒を育てて参ります。

3ページ目をご頂きたいと思えます。「普通科」についてでございます。

普通科では、国公立大学への受験に対応させるために、全ての科目を満遍なく学ぶ教育課程としております。

次に、4ページ目をご覧ください。思えます。「普通科文理スポーツコース」について説明をいたします。

「文理スポーツコース」では、多様な選択科目群から、自分の適性に合った科目を選択できる教育課程としております。文武両道を実現し、得意分野を生かして、私立大学等への進学を目指す生徒を育てて参ります。

5ページ目をご覧ください。次に「定時制：総合学科」についてご説明します。1・2年次では普通科と同様の科目を学び、3・4年次では多様な選択科目群から、自分の特性にあった科目を選択できる教育課程としております。

6ページ目をご覧ください。続きましては、新校の学力向上戦略について説明します。教育委員会の取組を、図の左側に示しております。

「①学習到達度の最適化」についてでございます。

新校では、各教室に無線LANを整備し、ICT機器を活用した教育を進めて参ります。具体的には、インターネットを通して、有名予備校講師による講義動画を受講するという「オンデマンド学習」を、授業中や放課後、家庭学習等に利用してまいります。なお、オンデマンド学習につきましては、現市立3校において、今年度4月より先行導入しております。

続きまして、「②教育機会の最適化」についてでございます。

現在、国際理解教育の推進を図りながら、新たな海外派遣について検討をしているところでございます。また、新しい奨学金制度につきましては、基金の設置も含め、今後検討して参る考えでございます。

続きまして、「③学び方の最適化」について説明します。

新校では、放課後に「自習室」を開放する予定です。部活動等で活躍する生徒にも、自習室で学習する環境を確保し、自学自習の習慣を身につけながら、「文武両道」を実現して参ります。また、自習室には「チューター」と呼ばれる現役大学生による学習指導員を配置し、学習上の疑問をすぐに解決できる仕組みを作ります。

なお、チューターにつきましては、今年度6月より、市立3校において試験導入を開始しているところでございます。

また、難関大学への進学希望者に対して、家庭教師機能を加えた個別指導型チューターを、今年度10月より試験導入を開始しております。個別指導型のチューターとは、チューター1人が高校生3人を担当し、家庭学習の進捗度から、受験指導までを個別管理し、難関大学への進学を支援していくものでございます。

7ページをご覧顶きたいと思ひます。順天堂大学との連携についてご説明致します。順天堂大学とは、今年3月に包括的な協定を締結いたしました。協定内容は、大きく4点ございますが、ここでは「4 市立高校と大学の連携・接続」についてご説明致します。

新校の開校後、順天堂大学生による自習室へのチューターや、教授等による出前講義、高校生による大学訪問などを計画しているところでございます。今年度の夏季休業中には、「英語アシスタント」として、国際教養学部の2年生4人を、川口総合高校と県陽高校に試験的な導入を実施したところでございます。

終わりになりますが、川口市立高等学校が、生徒一人ひとりの能力や個性の伸長を図りながら進路実現を叶え、市民の方々にとっても魅力ある高等学校となれるよう、今後も全力で頑張っていきたいと思ひます。

#### 議長（奥ノ木市長）

ただ今、茂呂教育長から「イ 魅力ある高等学校づくり」について、説明がございましたが、これらについて、補足や、ご意見等がありましたら、お願いいたします。

#### 議長（奥ノ木市長）

6ページ、1の②、教育機会の最適化ということですが、奨学金制度の創設と、海外派遣制度の推進については、教育委員会だけでは難しいこともあると思ひますので、市長としても積極的にバックアップさせて頂きたいと考えているところでございます。

また、カリキュラムの話になりますが、資料2の3ページの3年の文系には、理数系の科目は選択に入ってくるという認識でよろしいでしょうか。

#### 学校教育部長

普通科のカリキュラムでは、選択の中で、そういった科目をとることになるが、元々、このカリキュラムは、国公立のセンター試験に対応できるようにということで、1、2年生時は、理数系の科目も満遍なく勉強し、3年時に文系と理系を分けるというような仕組みになっております。

#### 議長（奥ノ木市長）

資料にあるカリキュラムは、良い組み方だと思ひます。

#### 山口委員

1ページ目の文理スポーツコースは、入学時は普通科として入学して、改めて選ぶとい

うことで良かったでしょうか。

#### 学校教育部長

入学試験時は、大きく3つの入口がございます。それがここにあります、理数科の入口、そして、普通科のブルーの部分の入口、もう一つが、黄色い部分の文理スポーツコースという3つの入口で、入試を行う予定でございます。

今、山口委員からありました様に、特進クラスにつきましては、ブルーの部分の中で本人が希望してある程度の成績をとった生徒が、この特進クラスに入ることができるというようになっております。また、文理スポーツコースにつきましては、ここにありますように、ブルーの部分とは異なり、自分の進路が始めからはっきりしている、将来、スポーツの分野に行きたい、ですとか、英語を専門にしたいといった様な、得意分野を生かして私立大学等への進学を目指す生徒に適応したカリキュラムになる予定でございます。

#### 山口委員

資料2の4ページにある、スキルというのはどういうものでしょうか。

#### 学校教育部長

4ページでございます、カリキュラムの中で、スキルアップの時間というものを作っており、それぞれ基礎学力を養うような時間をカリキュラムの中に設けております。

また、緑の部分につきましては、先ほどありました、それぞれの進路に向けて、選択科目を多くして、総合学科に近いようなカリキュラムを組みまして、それぞれの進路に応じた学習ができるようなカリキュラムにしていきたいと考えております。

#### 宿谷委員

6ページの左側の1番下に、市独自の教職員採用を中核市移行後に検討と書いてありますが、中核市になった以降に検討するのでは遅いように感じますがいかがでしょうか。

#### 学校教育部長

新校については、県立にも、私立にも無い独自性を出していきたいと考えております。そのために、市独自の人材の登用も非常に重要だと考えているところでございます。そのため、その準備を進めておりまして、これにつきましては、平成29年度には市独自の採用は出来ないのですが、平成30年度に向けて、今その準備を進めているところでございます。

#### 齋藤委員

使用する教材は、コースによって異なってくるということでよかったですでしょうか。

#### 学校教育部長

教材、特に教科書は、コースによって異なるものを使用することになります。

#### 議長（奥ノ木市長）

文理スポーツコースは、おそらくスポーツの得意な子どもに新市立高等学校に入学して頂き、それで更に将来性を伸ばすということだと思いますが、その場合、入試において、スポーツの評価はどのようにして見極めようとしているのでしょうか。

#### 茂呂教育長

入学選抜基準が普通科と文理スポーツコースとは、異なり、その基準を現在検討している最中でございます。

#### 議長（奥ノ木市長）

私としては、学校の先生、学校の判断が大半を占めるのではないかと考えておりますが、しかし、第三者的な人を教育局に置いて、その子の資質等を平素から見極めておくことなども必要なのではないかと考えているのですが、いかがでしょうか。

#### 山口委員

多くの種目があると思いますので、第三者の方がそれぞれの種目にどの程度の専門性があるのか等、課題もあり、第三者をどうやって決めるか等、非常に難しいと私は思います。

#### 議長（奥ノ木市長）

私もどのようにしたらよいのか、正直分からないのですが、教育委員会の課題として、この子はもっと素質があるというような子どももいると思いますので、大会の成績だけでなく、そういった機関も必要なのではないかと少々思い、その点について、良い考えが教育委員会に無いか、という投げかけをさせて頂いたものです。

#### 学務課長

本市中体連では、各競技の専門部会を組織し、大会運営や、選手の育成を図っております。団体競技では、強い学校に入っていると、選手として大きな大会に出場する機会があります。一方で、大きな大会の出場には恵まれず、成績を残していない生徒につきましても、選抜として集めて、育成を図るという仕組みもございますので、そういったところからも素質のある生徒の発掘はできるのではないかと考えられます。

#### 議長（奥ノ木市長）

素質のある生徒の発掘については、是非よろしく願いいたします。

**議長（奥ノ木市長）**

まだまだ意見交換をしたいところではございますが、お時間に限りもございますので、このあたりで「イ 魅力ある高等学校づくり」については、一旦終了とさせて頂きたいと思っております。

本日意見交換をいたしました「確かな学力」と「魅力ある高等学校づくり」については、「子どもがのびのび学べる環境づくり」を推進していく上で、大事な取り組み項目であり、川口市が、元気なまち、選ばれるまち、になるための重要な視点であると思っております。こうしたことから今後とも市一丸となってこれらの件に取り組んでいく必要があると思っておりますので、教育委員会においても重点的に取り組んでいって頂きたいと思っております。

また、本日は、私の考えや思いを述べさせていただきましたので、教育委員会における事業実施の際に検討していただければと思っております。

本日は、意見交換をし尽くせない部分もあったかもしれませんので、意見交換が十分でなかった部分については、次回以降引き続き意見交換をさせて頂ければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

**議長（奥ノ木市長）**

それでは、議事につきましては、これにて終了となりますので、進行を事務局に戻します。

**【その他】**

**事務局（教育総務課長）**

次に、大きな5、その他でございますが、事務局より、総合教育会議の今後の予定について、ご説明申し上げます。本会議開催前に、市長より、次回は、2月または3月に開催し、引き続き教育委員会との意見交換をしていければとのご意見を頂いておりますので、その際は、どうぞよろしくお願いいたします。

説明は、以上でございます。

何かご意見等はございますか。

**委員**

意見なし。

**【閉会】**

**事務局（教育総務課長）**

それでは、本日はお忙しいところ会議にご出席いただくとともに、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

次回の、総合教育会議につきましても、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

以上で、平成28年度 第1回川口市総合教育会議を閉会とさせていただきます。